

S H I M A N E B A N K



しまぎんの経営情報

2004年(平成16年)3月期
【単体・速報ベース】

SHIMANE 島根銀行

I

営業実績

収益性のバロメータ

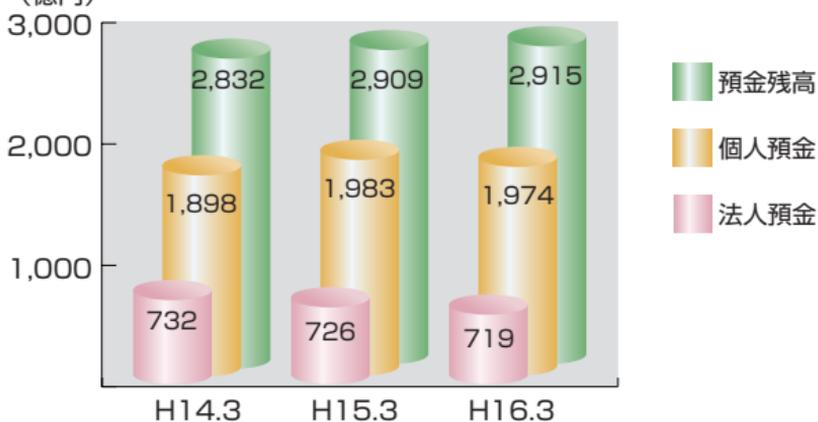
平成16年3月期の預金・貸出金・収益の主要計数は次のとおりです。

■預金・貸出金

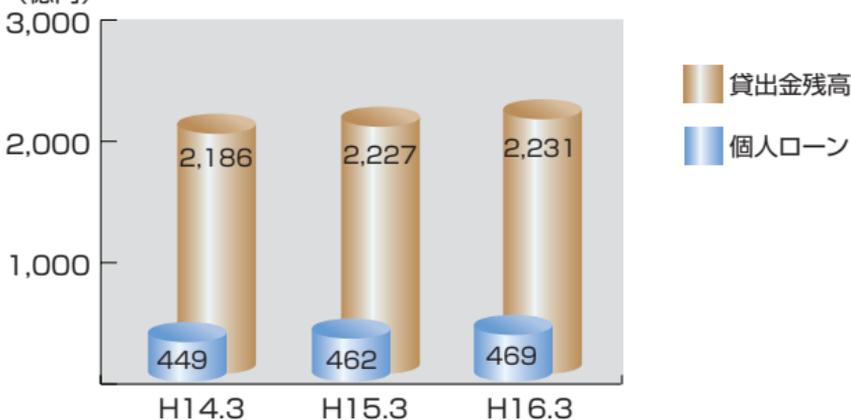
(百万円)

	平成14年3月期	平成15年3月期	平成16年3月期
預金残高	283,290	290,934	291,577
うち個人預金	189,887	198,330	197,439
うち法人預金	73,276	72,641	71,982
貸出金残高	218,629	222,743	223,186
うち個人ローン	44,921	46,214	46,915

(億円)



(億円)



■収益

(百万円)

	平成14年3月期	平成15年3月期	平成16年3月期
業務純益	1,693	2,092	※ 1,668
経常利益	732	665	※ 383
当期純利益	530	371	※ 282

※印の計数は速報ベースの見込値です。

II

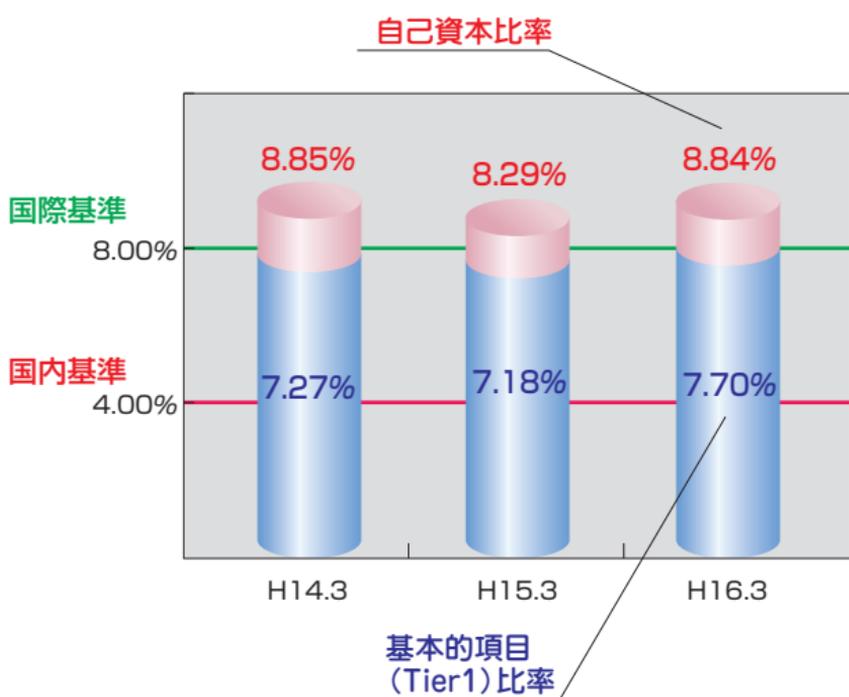
自己資本比率

健全性・安全性のパロメータ

自己資本比率は、銀行が保有する貸出金や有価証券等の資産に対し、資本金や引当金等の内部資金をどの程度保有しているかを見る指標であり、銀行の健全性を示す重要な指標です。

	平成14年3月期	平成15年3月期	平成16年3月期
自己資本比率	8.85%	8.29%	※ 8.84%
Tier1比率	7.27%	7.18%	※ 7.70%

※印の計数は速報ベースの見込値です。



自己資本比率について

- ◆当行のように国内基準の対象となる銀行では、自己資本比率が4%以上あることが求められています。
- ◆平成16年3月期の自己資本比率は8.84%であり、国内基準の4%はもちろんのこと、国際基準（海外店舗を持つ銀行の基準）の8%も余裕をもってクリアしています。

基本的項目 (Tier1) 比率について

- ◆基本的項目 (Tier1) 比率とは、自己資本の根幹を成す「基本的項目」（資本金や剰余金など）によって算出される比率のことです。
- ◆平成16年3月期は7.70%であり、この比率だけをみても国内基準の4%をクリアしております。

III

不良債権

健全性のバロメータ

金融再生法に基づく資産査定開示額（貸出金及び支払承諾等貸出金に準ずる債権を対象）は次のとおりです。

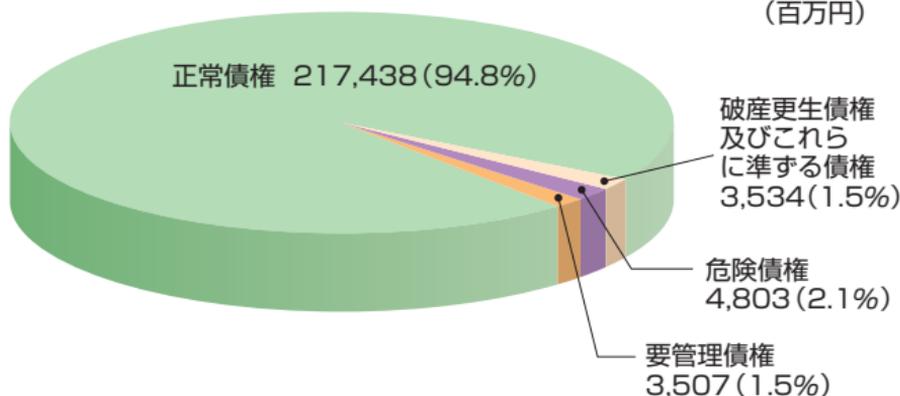
(百万円)

債権の区分	平成14年3月期	平成15年3月期	平成16年3月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,788	2,492	※ 3,534
危険債権	3,942	5,002	※ 4,803
要管理債権	4,619	2,872	※ 3,507
計	11,349	10,367	※ 11,846
不良債権の割合	4.97%	4.50%	※ 5.16%
正常債権	216,688	219,667	※ 217,438
合計	228,038	230,034	229,284

※印の計数は速報ベースの見込値です。

■不良債権の状況（金融再生法に基づく資産査定開示額:平成16年3月期）

(百万円)



銀行法に基づくリスク管理債権額（貸出金のみを対象）は次のとおりです。

(百万円)

債権の区分	平成14年3月期	平成15年3月期	平成16年3月期
破綻先債権	1,500	1,572	※ 2,449
延滞債権	3,204	3,232	※ 3,720
3ヶ月以上延滞債権	37	20	※ 41
貸出条件緩和債権	5,938	4,949	※ 5,281
合計	10,681	9,774	※ 11,493
不良債権の割合	4.88%	4.38%	※ 5.14%

※印の計数は速報ベースの見込値です。

「資産運用パック」は、 「春のハッピーキャンペーン」として取扱中!!

(平成16年3月10日～平成16年5月31日)



【資産運用パック】の内容
「定期預金」と「投資信託」を併せてご利用いただけます。

定期預金 + 投資信託

資産運用パック20型
定期預金+投資信託の総額が100万円以上
年利0.1%優待

資産運用パック100型
定期預金+投資信託の総額が100万円以上
年利0.2%優待

※詳しくは店頭にお問合せください。

※詳しくは店頭にお問合せください。

●個人預り資産の状況

個人年金保険や投資信託などの金融商品が地域のお客様から大変好評をいただいております。お預りしている金融資産の残高は着実に増加しております。

(百万円)

	平成15年3月期	平成15年9月期	平成16年3月期
個人預り資産	199,518	201,956	204,954
個人預金	198,330	196,028	197,439
投資信託	486	836	1,477
公共債	255	472	609
年金保険	446	4,618	5,427

【地域貢献活動】

Q しまぎんの地域貢献活動について教えてください。

A 児童活動支援制度「しまぎんわんぱく応援団」をご紹介します。

「しまぎんわんぱく応援団」は、子供たちがふるさとに愛着と誇りを持ち、山陰の次代を担う人材に育ててもらいたいとの願いをこめて、当行の創業80周年を記念して平成7年よりスタートしました。積極的な児童活動をしている団体を選考し、年間12団体に助成金を贈呈しています。



- ◆これまでの実施状況
- 応募団体数 264団体
 - 助成団体数 108団体

しまぎんとピックス

平成16年4月より「新中期経営計画」がスタートしました。

新計画のキャッチフレーズは、この計画期間中に当行が創業90周年（平成17年5月20日）を迎えることから、これにむけて、さらにはその後にむけて「力強くはばたく」との当行の強固な決意を鮮明にするため「Wing 90」（ウイング90）といたしました。

中期経営計画「Wing 90」平成16年4月～18年3月《2力年》

経営理念

1. 地域社会の発展に貢献し、信頼され、愛される銀行となる
2. 常に魅力あるサービスを提供し、お客さまのニーズに積極的に応える
3. 創造力豊かで、活力にみちた、明るい人間集団をつくる

経営ビジョン「Wing90」

1. お客さまとのリレーションシップの強化をめざします
2. 株主に対して安定したリターン確保をめざします
3. 行員が自己実現できる体制の構築をめざします

企業価値の向上

収益性の向上
当期純利益
5億円

健全性の向上
自己資本比率9.0%
不良債権比率4.5%

経営革新

「トップダウン型経営」のさらなる浸透により、マネジメント力を強化すべく、収益管理手法、人事管理手法、審査管理手法等の改革を行います。

1. 営業の強化

- ① 地域に密着した営業力の向上
- ② 営業体制の見直し及びインセンティブ付与
- ③ 顧客の視点に立った付加価値サービスの提供

2. 財務の強化

- ① 適正なプライシングによる資金利益及び役務収益の強化
- ② 不良債権の圧縮
- ③ 適正なポートフォリオの構築

3. 人材の強化

- ① 顧客ニーズに応えられる人材の育成
- ② 自己実現できる研修体制
- ③ 働きがいのある職場作りとメリハリのある処遇

4. 組織の強化

- ① 重点的IT投資によるビジネスモデルの改革
- ② 業務プロセスの再構築
- ③ 株式公開への環境整備

コンプライアンス・リスク管理態勢の高度化

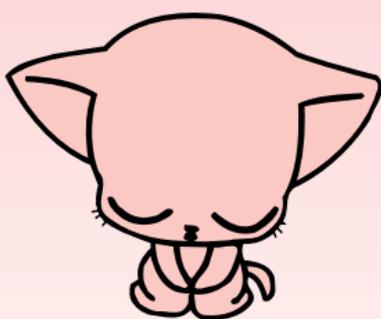
中期経営計画を推進していくうえで、コンプライアンス・リスク管理態勢の高度化を図ります。

本ミニ・ディスクロージャー誌は、しまぎんの主要な経営情報をタイムリーに、また、分かりやすくお伝えすることを目的として作成しております。

今後も地域のみなさまに、積極的な経営内容の情報開示をおこなってまいります。

なお、本誌記載の情報は当行ホームページに掲載しております。

※資料中、速報ベースの見込みとしております
計数につきましては、今後、監査法人による
監査等を踏まえ確定することとなります。



島根銀行

松江市東本町2-35 〒690-0842 TEL.0852-24-1234 (代表)
URL.<http://www.shimagin.co.jp>

平成16年4月 発行 島根銀行業務企画グループ